

自動認識技術者資格 認定試験のご案内

2018年

IoTの実現に必須の技術であり、社会インフラとしても様々な分野で活躍する「自動認識技術」は、今や限られた人だけのものではなく、誰もが必要不可欠とする身近なものになっています。

この技術を用いた機器やシステムを活用し、より豊かな社会にするには、技術を開発する人、利用する人が正しい知識を持つことが大切です。当協会では、このような知識を持った人材を増やし、「自動認識技術」の更なる発展と普及を図るべく、技術者資格認定試験を実施しております。



自動認識とは・・・人間を介さずに、ハードウェア・ソフトウェアを含む機器によって、自動的に情報を取り込み、内容を認識すること。

(AIDC: Automatic Identification & Data Capture)

一般社団法人 日本自動認識システム協会

〒101-0032

東京都千代田区岩本町 1-9-5 FKビル 7F

☎03-5825-6651

E-mail: license@jaisa.or.jp

詳細は当協会 Web サイトへ！



<http://www.jaisa.jp/license/index.html>

JAISA

JAISA は自動認識業界の更なる発展に貢献します

バーコードや RFID、バイオメトリクスに代表される自動認識技術は、生産分野や物流分野、サービス・公共分野および医療・福祉分野、最近ではコンシューマ向けサービスにまで広がりを見せ、今や現代社会のインフラとして浸透しており、必要不可欠な技術として益々の発展が期待されます。

日本自動認識システム協会[JAISA]では、自動認識技術の普及啓発および業界の今後の更なる発展のために、その要となる技術者の育成・増加を支援するものとして、本資格認定登録制度（基本技術者資格認定講習・試験）を平成 16 年 10 月にスタートいたしました。

以降、専門技術者資格認定講習・試験の開始も経て、平成 30 年 1 月現在までに、累計 **1,677 名** の基本技術、**171 名** の RFID 専門技術者、**35 名** のバーコード専門技術者の資格認定登録者を輩出しており、登録者の皆様は開発部門や営業、管理部門などの第一線で自動認識業界の発展に力を尽くされています。

当初は当協会の会員企業に所属される方の受験がほとんどでしたが、普及啓発活動の成果が徐々に広がり、近年では非会員企業に所属される方の受験も増えてまいりました。また、生産や物流などの自動認識システム利用者の方々が、システムを正しく効率良く使うための知識を得る目的で受験されるなど、「自動認識技術者」の裾野は広がりつつあります。

企業の皆様におかれましては、社員研修や自己啓発の手段として、また従事する業務に関する知識を深める手段として、そして一般の方々にも、日常的に接している自動認識技術を広く知って頂く機会として、本資格認定登録制度のご活用を是非ともお勧めいたします。

一般社団法人 日本自動認識システム協会

基本技術者／専門技術者資格 選択の目安

基本技術者資格

学生
一般社会人

自動認識技術
初心者

新入社員

若手社員・中堅社員

営業部門担当者

技術・開発部門担当者

管理部門・企画部門担当者

新人研修、基礎研修、自己啓発。
自動認識専門技術者を目指す方。
自動認識機器利用者（管理者、ユーザ）。
自動認識業界、自動認識機器利用企業への
就職を目指す学生。 〈等々〉

バーコード専門技術者資格 RFID 専門技術者資格

基本技術者資格
保有者（必須）

技術・開発
関係者

管理役職者

専門技術に携わる方の研修、自己啓発。
専門知識を基に顧客、技術部門との連携を深めたい営業、企画部門の方の自己啓発。
自動認識技術を用いたシステム構築を目指す
方の研修、自己啓発。 〈等々〉

2018年度開催概要

	第 33 回 基本技術者 資格認定講習・試験	第 34 回 基本技術者 資格認定講習・試験	第 35 回 基本技術者 資格認定講習・試験
日程	7 月 6 日(金)、7 日(土)	9 月 7 日(金)、8 日(土)	10 月 5 日(金)、6 日(土)
募集人数	100 名	50 名	100 名
募集期間	6 月 11 日(月) ～ 6 月 27 日(水)	8 月 8 日(水) ～ 8 月 28 日(火)	9 月 5 日(水) ～ 9 月 26 日(水)
会場	早稲田大学理工キャンパス (東京都 新宿区)	マイドームおおさか 会議室 (大阪市 中央区)	早稲田大学理工キャンパス (東京都 新宿区)
受験対象者	新入社員・中堅社員・学生・一般社会人など、自動認識技術に関する基本知識を修得したい方。 自動認識技術に携わる企業の社員(社員研修として利用、または知識・実力の確認のために)。 ＜具体的に、こんな方にお勧め！＞ ■ 自動認識業界や自動認識システムを利用している企業への就職を目指す学生 ■ 新入社員、中堅社員等の基礎研修や自己啓発(主に営業部門・管理部門の方) ■ 専門技術者資格取得を目指す方の研修や自己啓発(主に技術部門・開発部門の方) ■ 自動認識システムや機器の管理者・ユーザー。自動認識システムの導入を検討中の方。		
受講・受験料	① 当協会会員企業に所属されている方 30,000 円 (テキスト不要の場合 24,000 円) ② 非会員企業に所属されている方 50,000 円 (テキスト不要の場合 44,000 円) ③ 学生の方 15,000 円 ④ 講習を受講せずに試験のみ受験される方 10,000 円 ⑤ 団体割引、再受講の場合の受講料減額制度があります。(詳細は事務局まで)		

資格試験名称	第 13 回 RFID 専門技術者資格認定講習・試験	
日程	平成31年 2 月 7 日(木)、8 日(金)、9 日(土) [講習日] 平成31年 2 月 16 日(土) [試験日]	
募集人数	30 名	
募集期間	平成31年1月15日(火) ～ 1 月 29 日(火)	
会場	一般社団法人日本自動認識システム協会 (東京都 千代田区)	
受験対象者	基本技術者資格認定者で、RFID についてより専門的な知識の修得を目指す方。 ※専門技術者資格の受験は、基本技術者の資格を保有している方が対象となります ＜具体的に、こんな方にお勧め！＞ ■ RFID 技術に関する知識をより深めたい方の研修や自己啓発(部門を問わず) ■ RFID 技術に専門に携わる方の研修や自己啓発(主に技術部門・開発部門の方) ■ RFID 技術を用いたシステム構築を目指す方の研修や自己啓発(部門を問わず)	
受講・受験料	① 当協会会員企業に所属されている方 40,000 円 ② 非会員企業に所属されている方 60,000 円 ③ 直前回(第 12 回)の受講者で今回は受験のみの方 20,000 円 (1 回限り)	

申込み手順

お申込み方法は、当協会の Web サイトからの申込みのみとなります。

まずは資格試験トップページ <http://www.jaisa.jp/license/index.html> へアクセスして下さい。

「募集中の＊＊資格講習・試験お申込み」をクリックすると、各講習・試験の開催概要が表示されます。

申込みをされる「講習・試験名」をクリックすると、開催案内が表示されますので、内容をご確認のうえ

「資格試験 WEB 申込画面へ」をクリックして申込みフォームから手続きを行ってください。

（募集期間中でない講習・試験は「講習・試験名」をクリックしても開催案内が表示されません。）

1 仮受付

受講・受験者ご本人が Web サイトから申込み（専用フォームへの入力）を行って下さい。お申込み後、受付コードや受講・受験料の払込方法などをお知らせする仮受付メールが届きます。

（※この段階ではまだ仮受付の状態です。受講・受験料の入金を当協会が確認できた時点で正式な受付となります。）

2 受験料払込

当協会指定の銀行口座へ受講・受験料をお振込み下さい。

ご入金確認後、受講・受験票の発行をご案内するメールが届きます。受講・受験票を Web サイトから発行、印刷し顔写真を貼るなどの準備をお願いします。

また、当協会より受講・受験のご案内書類と教材類を発送します。

（※受講・受験料は理由の如何にかかわらず返還できません。）

3 案内資料・教材到着

入金確認から数日後に、講習会・試験のご案内資料、使用するテキストなどの教材が到着します。

資料、テキストを良く読み、受講・受験の準備を整えておいて下さい。

講習会・試験当日は顔写真を貼った受講・受験票を忘れずにお持ち下さい。

ご記入いただきました個人情報は、当協会の資格認定講習・試験の実施に必要な範囲で使用されます。当協会が申込者から収集した個人情報を申込者本人の同意なしに第三者に開示することは、当該講習・試験の目的遂行に必要な業務を請け負うデータ管理事業者以外には、原則としてありません。ただし、以下に該当する場合は、申込者本人の同意に関係なく情報を当該第三者に開示することがあります。

1. 法令に基づき、警察、裁判所等の国や地方の諸機関より個人情報の開示が求められた場合
2. 当協会の権利や財産を保護するために開示が必要な場合
3. その他申込者本人が第三者に不利益を及ぼす等、開示するにつき正当な理由がある場合

また、当協会の会報配布やイベントの開催案内のため、利用することがあります。

受験者の声

(流通研究社・月刊マテリアルフロー 2015年9月号 記事より)

FOCUS 日本自動認識システム協会・創立30周年

技術者資格で顧客に安心感・信頼感、 トラブル解決にも役立つ実績

自動認識基本・専門技術者資格取得者に聞く



■出席者(発言順)

アイメックス(株) 営業部 課長

小野 史生氏

(株)マーストークンソリューション 第二本部
営業三部 営業二課 係長

大浦 正士氏

(株)サトー 名古屋支社長

吉富 秀樹氏

JAISAの自動認識技術者資格認定登録制度は、自動認識技術やシステムの導入・改善等の技術的ニーズに的確かつ迅速な対応ができるよう、エンジニアリング業務・システム業務に従事する自動認識技術者を育成し、増加させるため講習会・試験を開催し、合格者の資格認定登録を行うもの。新入社員・大学生・一般社会人など、自動認識技術に関する基本的な知識の修得を目指す初心者に対象とした「自動認識基本技術者資格」(2日間の講習後に試験)と、基本技術者資格の取得者でより専門的な知識の修得を目指す人を対象とした「バーコード専門技術者資格」「RFID専門技術者資格」(3日間講習、1週間後に試験)がある。これまでに合わせて約2,000名の合格者を輩出している。



大浦正士氏

■受験のきっかけ・動機について

小野 私は以前から協会の委員会に参加しており、資格のことも活動を通じて知りました。バーコード専門技術者資格を取りたいと思ったので、まず基本技術者資格を05年に取得。続いて06年に専門資格を取りました。

自社の扱い製品だったリーダー関連以外の知識が浅かったので、網羅

的に自動認識技術全体を学べる基本資格はとても役立ち、知識の棚卸ができました。07年にRFIDでも専門資格を取得したのは、会社がこの分野に新規参入を計画していたからです。

大浦 私は会社からの案内で04年の第1回試験で基本技術者資格を取りました。新しい資格が自分の働いている業界でできた、これは面白そうだったのです。自社の製品技術しか知らないところに、講習を受けて試験を受ける形は新鮮で、バーコードとRFID、バイオメトリクスの3教科を学びました。

さらにステップアップしようと、バーコード専門資格も第1回の06年

に取得しました。その試験では記述式の大問題で「バーコードリーダー・プリンタのロジックを説明せよ」と出て、構造、機能、特徴を系統立てて手書きしたのですが、かなり難しかったです。

吉富 私も第1回の基本技術者試験で資格を取得致しました。業界初の資格試験だったので興味を持っていたのと、自動認識システムの普及拡大を推進していた会社だったこともあって社を挙げて大々的にアナウンスされ、多くの仲間がともに受験しました。

RFIDやバイオメトリクスについて、まだ一般市場では情報が少なく、初めて見る協会の新技術教材で夢が



小野史生氏



吉富秀樹氏

あり、将来につながる技術を習得できました。

■資格を取って良かったこと

小野 技術者資格を持つことは名刺に書き入れているので客先で自然にアピールでき、「分かっている人なんだね」と認識していただけるのが一番のメリット。試験を通じて身に着けた幅広い基本知識と専門知識は、実務にすべて使えるとは限りませんが、何か分からないことがあれば当時のテキストなど、どこにアクセスすればどんな情報があるか、リファレンスがある点でも役立っています。

一方で公的な資格ではないので、社内的にはそれによる処遇の変化などはありません。

大浦 私も営業なので名刺交換の際に、話題になることがあります。お客様が自動認識技術の扱いが多い部門の方ですと、「自分も受けてみようか」と話が弾むこともあります。当社では社員の3分の1、営業職は新人、中堅問わずほとんどが、基本技術者の資格を取得しています。有資格者の同僚は頼りがいがあり、安心できますね。

また資格に助けられたこともあります。ある企業で新しい物流システムの導入計画が進んでおり、その打ち合わせに参加した時のことですが、出荷・荷札ラベルのバーコードが、お客様の設計では印字・読み取りが難しい仕様でした。当初バーコードの品質については耳を傾けてはもらえず、デザイン面から変更にかなり難色を示され、時間をかけて説明し理解を頂くまで非常に苦心しました。後になってこのお客様から「あのまま進めていたら致命的だった」と感謝されました。私の話を聞いてもらえたのも、技術者資格があったからだと思います。

吉富 技術者資格認定試験に挑んで、営業活動や提案のベース、バックボーンになる知識を得ることで、商談のポイントでお客様に安心感を持っていただくことにつながったと思います。バーコードはもはや当たり前の時代になりましたが、ユーザーの立場で細かいスペックや技術的な知識をもっている人はほとんどいない。信頼の証になると思います。

■今後の展望、後輩・業界に望むこと

吉富 この技術者資格認定試験には若い人にどんどん挑戦してほしいですね。社内では「取得していて当たり前」と感じられるまで浸透しており、この業界で活躍していくためには取得おくべき資格でしょう。さらに学生の間にこの資格を取得すれば、自分の進路の幅を広げることにつながると思います。

JAISAは30年間、業界のチームワークを支えてきてくれました。情報発信を拡大し、業界全体の活性化をさらに進めてくれることを

期待しています。

大浦 この技術者資格を、より多くの方々に知ってもらえれば、受験者もさらに増えるはずですよ。今やQRコードは生活に浸透し、指紋や網膜認証などのバイオメトリクスも一般化しました。自動認識は世の中に必須な技術であることをより広く知ってもらいたい。IT業界ではシステムアドミニストレーターが何人いるか等を会社の力の指標としてアピールしています。自動認識業界も技術資格者数を競い合うくらい認知度が高まればいいですね。

ITの一分野として今後、自動認識技術が一気に拡大する日も来るはず。協会が重要な役割を担っていきえるよう、一緒に頑張っていきたいと思っています。

小野 資格の認知は業界内では進みましたが、対外的なアピールや取得者のステイタス向上は今後の課題と思います。バーコード技術はコモディティ化してきた半面、必要な印字幅など、基本が案外理解されていないのが現実。ユーザーがこの資格で基本技術を身につければ、無用なトラブルを避けてより効率的に運用できる。社会に広く普及させれば、より良い自動認識システムになるということです。

これからの業界団体には、より公的な役割が求められると思います。自動車業界では燃費の算定方式も共通化されていますが、自動認識業界では読み取り距離その他のスペック表記にも試験方法などが統一されていません。品質など団体規格を決めれば、海外や非会員企業の製品との差別化もできる。JAISAもそうした機能を強化して頂ければ、団体の存在意義が高まり、企業が加盟して収集するモチベーションも上がるはず。社会の公器としてのステップアップを期待しています。



基本技術者登録証の見本

よくあるご質問と回答

Q1. 私は非会員企業所属者で、担当業務は一部の自動認識技術にしか関連がないのですが、会員企業所属者に比べて受講・受験するうえでのデメリットはあるのでしょうか？

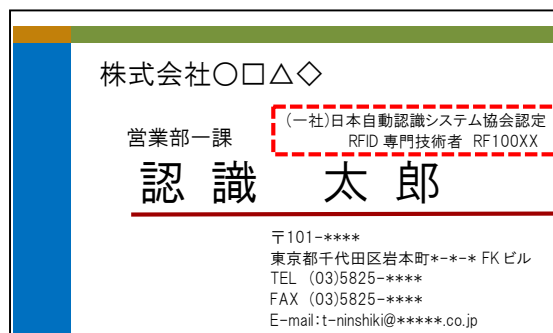
A1. 実務経験の長短や有無は、講習内容の理解度に多少の影響はあるかもしれませんが、しかし、当協会の調査によれば、基本技術者資格試験では会員企業所属者と非会員企業所属者との平均点に大きな乖離はありませんでした。

Q2. 自動認識技術者資格を取得することで得られるメリットは何でしょうか？

A2. 当協会の資格は残念ながら公的資格ではなく、いわゆる業界資格（民間資格）です。現状では、世間に知られ権威が認められた資格ではありませんが、自動認識業界においては、知名度・権威が高まってきている資格であると自負しております。

資格を取得することで得られるメリットについては、企業や資格取得者により様々ですので、一概には申し上げられませんが、参考例を挙げますと、資格取得者の中には自分が自動認識技術に関する有識者であることをアピールし、お客様に安心感を与えるために、名刺に資格名と認定登録番号を表記して活用されている方もいらっしゃいます。また企業によっては、資格取得が昇格条件となる等社内評価の向上につながっているところもあるようです。

＜活用例＞



Q3. 試験合格の秘訣について教えてください？

A3. 毎回様々な年齢層・職種の方が受験されており一概には言えませんが、事前にテキストを良く読んでいらっしゃる方の合格率は高いように思います。

基本技術者資格に関しては、自動認識技術に関する研究・開発系に携わる方に限らず、営業系の方や自動認識機器のユーザーの方も多く受験され、多数の方が合格されていますが、特に講習会を受講された方々の合格率が高くなっています。これは、各教科の講師による重要ポイントに即した講義が受けられ、テキストの理解も深まるためと考えられます。

受験者の声にもございますが、忙しい日常業務の合間を縫って、テキストを熟読し理解するための時間をいかに作り出すことが出来るかどうかが、合格の秘訣ではないかと思われます。また、講習会を受講されて、重要ポイントに的を絞った復習が出来れば、合格の可能性はさらに高くなるはずです。

テキスト・参考書籍

※下記 3 冊は基本技術者資格の受講料に含まれておりますが、お申込み時のご希望により、受講者ご本人でご用意頂くことも可能です。

よくわかるバーコード・二次元シンボル



- ・ 第1章 バーコードとは
- ・ 第2章 一次元シンボル
- ・ 第3章 二次元シンボル
- ・ 第4章 バーコードプリンタ
- ・ 第5章 バーコードリーダー
- ・ 第6章 印刷品質・検証器
- ・ 第7章 ダイレクトマーキング
- ・ 第8章 電子ペーパー
- ・ 第9章 モバイル二次元シンボル
- ・ 第10章 応用事例

よくわかるRFID



- ・ 第1章 RFIDとは
- ・ 第2章 RFIDの基礎用語
- ・ 第3章 RFIDの原理と特徴
- ・ 第4章 RFタグ
- ・ 第5章 リーダー・ライタ
- ・ 第6章 電波法とその他の法規・規格
- ・ 第7章 使用上の留意点と活用法
- ・ 第8章 RFID国際標準化の動向
- ・ 第9章 RFIDアプリケーションの標準化の動向
- ・ 第10章 RFIDの応用例

よくわかるバイOMETRICSの基礎



- ・ 第1章 バイOMETリック技術と本人認証
- ・ 第2章 バイOMETリック技術
- ・ 第3章 バイOMETリック認証モデル
- ・ 第4章 データおよびプログラムインタフェース
- ・ 第5章 認証精度とその測定方法
- ・ 第6章 バイOMETリック技術の標準化の動向
- ・ 第7章 プライバシーとバイOMETRICS
- ・ 第8章 新しい技術の開発
- ・ 第9章 応用事例
- ・ 第10章 市場の動向
- ・ 第11章 用語および関係サイト

何れも、株式会社オーム社 発行、一般社団法人日本自動認識システム協会 編
定価(本体 2,500 円【税別】)

ネット注文

<http://www.jaisa.jp/bookshop/index.html>
(※送料有料)

※よくわかる RFID は 2014 年 6 月より、電波法や規格の最新情報を掲載した「改訂 2 版」となりました。

基本技術者資格では、これら書籍の他に標準化のテキスト(当協会発行の非売品)を使用します。
標準化のテキストは受験者全員にお届けします。

専門技術者資格では、これら書籍を参考として、書籍の内容を補足する専門技術者資格専用テキスト(当協会発行の非売品)を使用します。